



平成30年9月1日現在の秋田市の人口(平成27年国勢調査の結果を反映した数値)

●人口▶308,647人(+75)…男▶145,513人(+29) 女▶163,134人(+46)

8月分 出生▶185人 死亡▶263人 転入▶691人 転出▶538人

●世帯▶136,419世帯(+161) ●1年前の人口▶311,467人 ()内は前月比



市役所からのお知らせ

●文中「SC」はサービスセンターの略

来年度の県・市体育施設の利用申請を受け付け

関係団体への募集通知は、10月10日(水)に発送予定です。スケジュール調整会議は2月上旬に実施します。

第1次申請(東北大会以上の大会・行事など)受付期間▶10月15日(月)から11月9日(金)まで

第2次申請(全県大会以下の大会・行事など)受付期間▶12月上旬から1月上旬まで

●問い合わせ スポーツ振興課

☎(888)5611

市営墓地の使用者を募集します

平和公園(泉)の使用者を下表のとおり募集します。生活総務課(市役所1階)、各市民SC(中央・東部を除く)、駅東SCで配布している募集案内をよく読んでお申し込みください。

①市内に住所または本籍がある対象▶次のすべてを満たすかた

②遺骨を埋蔵する墓地がなく、寺院や自宅に一時保管している

(生前申し込み、分骨、改葬などは対象外です)

③市内に住所があり、独立した生計を営む保証人を届け出できる(ただし、3親等以内の親族は、市外に住所を有していても保証人として選定できません)

申し込み▶10月11日(木)から26日(金)までの平日に受け付けます。申込多数の場合、11月7日(水)に市役所5階正庁で公開抽選を行います

| 墓地名 | 面積＝区画数 | 永代使用料(年額の管理手数料) |
|------|----------|--------------------|
| 平和公園 | 4㎡＝53区画 | 324,000円(2,544円) |
| | 4.5㎡＝6区画 | 364,000円(2,862円) |
| | 6㎡＝8区画 | 486,000円(3,816円) |
| | 12㎡＝1区画 | 972,000円(7,632円) |
| | 15㎡＝1区画 | 1,215,000円(9,540円) |

●問い合わせ 生活総務課☎(888)5624

*公開抽選会場敷地内での、墓石販売などの営業行為はご遠慮ください。

65歳以上のかたのインフルエンザ予防接種

65歳以上のかたを対象に、10月

から2月末までインフルエンザ予防接種を実施しています。

秋田市と契約した県内の医療機関で受けられます。詳しくは健康管理課へお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。☎(883)1179

■広報ID番号 1005581

対象▶秋田市に住民登録をしていて、次の①か②に該当するかた

①接種日に65歳以上のかた

②接種日に60～64歳で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に障がいまたはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がいがあり、身体障害者手帳1級をお持ちのかた

持ち物▶健康保険証など、年齢がわかるもの。右記対象②の場合、身体障害者手帳の写し(氏名・等級・障がい名がわかる部分)

接種料金▶医療機関ごとに異なりますので、直接お問い合わせください

◆課税世帯のかた▶医療機関での接種料金から、市助成額2千308円を差し引いた額を差し引いた額

◆(世帯員全員が)非課税世帯のかた▶医療機関での接種料金から、市助成額2千908円を差し引いた額。「所得・課税証明書」(※)を、接種日に医療機関に提出してください

※II総合窓口(市役所1階)、市民税課(市役所2階)、各市民SC(中央・東部を除く)、駅東SC、

岩見三内・大正寺の各連絡所で発行します。「予防接種用に必要な」と伝えると証明書を無料で発行します。

◆生活保護受給者▶無料。「医療のしおり」が必要です

◆インフルエンザ予防接種が受けられないかた

▶接種当日、37.5℃以上の熱がある

▶重い急性疾患にかかっている

▶予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシー(アレルギー反応)を起こしたことがある

▶インフルエンザの予防接種により、2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギー症状が出た

▶医師が不適当だと判断したかた

地球温暖化に関する講演会を開催します

講師は、国立環境研究所地球環境研究センター副センター長の江守正多さん。一人一人ができる環境配慮対策などについて考えます。参加無料。

日時▶10月24日(水)午後2時～4時

会場▶中央市民SC洋室4(市役所3階) 定員▶70人

申し込み▶電話かEメールで、10月23日(火)午後5時まで、環境総務課へ。☎(888)5704

Eメール ro-evmm@city.akita.akita.jp



各種検診は「健診ガイド」でご確認ください

10月はがん検診受診率50% 達成に向けた集中キャンペーン月間

健康な今こそ
受けようがん検診



がんは早期発見することで、治療方法を選べ、治療に要する期間や治療のための精神的・身体的負担などを軽くできます。

がんになると、家族・友人・同僚など、多くの人が影響を受けます。ご自身だけでなく、あなたの大切な人のため、生活習慣に気を配り、早期発見、早期治療を心がけ、検診を受けましょう。

● 問い合わせ

保健予防課 ☎(883)1176

■ 「健康だから大丈夫」と思っていないませんか？

早期のがんはほとんど自覚症状がなく、自覚症状が出たときはすでに進行していることもありま。検診では、自覚症状のないがんを発見でき、早期の場合、胃がんのように9割以上が治るものもあります。

5月に全戸配布した「秋田市の健診ガイド」には、職場などで検診を受診する機会がないかたを対象とした各種検診の案内を掲載していますので、参考にしてください。「秋田市の健診ガイド」は、市の施設・金融機関などにも置いています。

■ がん経験者からのメッセージ

【70代の男性から】

日曜健診を受診したら、結果は要精検でした。その後、ステージⅢ(スリー)の肺がんという診断を受け、抗がん剤と放射線の治療を行い、現在は経過観察。毎年がん検診を受けていて異常がなかったのに、1年間でこんなに進行していたことに驚きましたが、検診で見つかったよかったと思います。

：検診を「受けて良かった」といった体験談を募集しています。ご協力いただけるかたは、保健予防課へご連絡ください(個人情報報は公表しません)。秋田市の電子申請で、スマートフォンなどからも申し込みできます

■ 広報ID番号 1005783

■ 「骨粗しょう症検診」と「おとなの歯科健診」を受診しましょう

市が行う「骨粗しょう症検診」は5年に1度(40歳から5年刻みで70歳までの女性が対象)、「おとなの歯科健診」は10年に1度(30歳から10年刻みで70歳までのかたが対象)の受診機会となります。

● 骨粗しょう症検診のすすめ

成田裕一郎先生

(中通総合病院整形外科)

骨粗しょう症は、骨の量が減少

して骨の微細構造が弱くなり骨折しやすくなる病気です。加齢によって起こりますが、特に、閉経後の女性は、骨のカルシウムが血液に溶け出すのを防ぐ女性ホルモンが分泌されなくなるため、急激に進行することがあります。

背骨(椎骨)や股、肩、肘、手首近くの骨が弱くなりやすく、軽い転倒でも骨折してしまうため、日常生活に大きな支障をきたし、手術や長期の入院が必要になることもあります。検診を受けてご自身の骨をきちんとチェックし、骨粗しょう症と診断されたかたは早めの治療をお勧めします。

● 歯の健診で

お口の健康度をチェック

小林崇之先生(安倍歯科医院)

お口の健康を保つには、口腔内の歯、歯肉の二つが健康でなくてはなりません。「おとなの歯科健診」では、この二つの疾病をチェックします。お口の健診も体の健診と同じで定期的に行うことが大切です。

お口が健康でなければおいしい食事ができません。また、一番怖いのは、痛みがないまま慢性的に症状を悪化させることです。

この機会に、自分のお口の状態を調べる歯科健診を、ぜひ受診してみましよう。

「いいあんべ体操」
教室参加者募集!

自宅のできる簡単で効果的な運動(肩こり・腰痛予防、ストレッチ、筋力アップなど)を学びます。

「腰痛・肩こりを予防・改善したい」「気軽に取り組める体操を知りたい」というかたにお勧め! 参加無料。先着各50人。参加者には、「秋田市いいあんべ体操」パンフレットを進呈します。

【会場と実施日】

- ① 西部市民SC：10月29日(月) ……10月31日(水)
- ② 河辺総合福祉交流センター
- ③ 南部市民SC：11月5日(月)
- ④ 東部市民SC：11月6日(火)
- ⑤ 北部市民SC：11月7日(水)
- ⑥ 中央市民SC：11月12日(月)
- ⑦ 雄和市民SC：11月14日(水)

【時間】

- ①③⑤⑦ 午後1時30分～3時
 - ②④⑥ 午前10時～11時30分
- 対象▶40歳以上で、自分で来場できるかた。ただし、初参加を優先し、昨年度参加したかたは、定員に空きがある場合のみ参加できます

申し込み(1人1会場で)10月10日(水)から19日(金)までの平日に保健予防課へ。☎(883)1178

* 河辺・雄和会場は申込不要です。直接会場へどうぞ。